

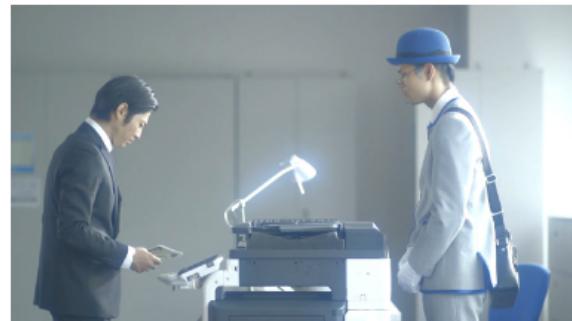
コニカミノルタグループの中で情報機器事業を展開するコニカミノルタ株式会社(旧:コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社)(社長:山名 昌衛、以下 コニカミノルタ)では、2012年12月12日より、WEBドラマ第2弾『コニカミノルタマンII(ツー) ～いちばんはじめの社員～』をYouTube上で配信いたします。

前作「コニカミノルタマン」はYouTube上で再生回数が14万5,000回を記録し、「泣ける」「ほっこりした」といった感想が多数寄せられました。

今回の『コニカミノルタマンII いちばんはじめの社員』では、起業したばかりの主人公と、その主人公を影でそっと支える「コニカミノルタマン」の姿を追っています。

「コニカミノルタマン」が主人公に寄り添う姿は、「モノ(=製品)からコト(=ソリューション)へ」、そして「コト(=ソリューション)を通じてお客様の役に立ちたい」というコニカミノルタの想いを体現しています。見終わった後は、少しきれいなけれど、キモチを前に進めてくれるドラマです。

[YouTube掲載サイト](#)



ドラマ概要

『コニカミノルタマンII ～いちばんはじめの社員～』 : コニカミノルタのサービスの本質的価値をテーマにしたWEBドラマ

本ドラマは、会社を起業したばかりの主人公タツヤが、新しいオフィスに引越しをしたところから始まります。自分以外にオフィスにあるモノは、デスクとコニカミノルタの複合機だけというスタート。その複合機から現れた『コニカミノルタマン』は、「この会社、ぜったい大きくなるんだ」と高い向上心と熱意を持つタツヤの傍らで、彼の会社の“いちばんはじめの社員”として、同じ熱意を持って見守りながら様々なソリューションを提供していきます。時には挫折しながら前に

進むタツヤの成長と成功を、いつも変わらず影で支え見守る『コニカミノルタマン』。やがてその耐用年数を超えますが、成功した主人公に初心を思い起こさせ、次世代へとその想いをつないでいくというストーリーです。

「コニカミノルタマン」とは

コニカミノルタの複合機に宿る妖精で、お客様と共に考え、お客様を成功に導くお手伝いをする存在です。

コニカミノルタの「モノ(=製品)からコト(=ソリューション)へ」という創造的な課題解決を提案していく姿勢と、いつも身近なパートナーとして「コト(=ソリューション)を通じてお客様の役に立ちたい」という強い想いを具現化しています。

前作は2012年2月からYou Tube上でご覧いただいており、今回のドラマで二作目となります。

[『コニカミノルタマン』の紹介Facebookページ](#)

[ページトップへ戻る](#)

[サイトのご利用について](#) [個人情報保護方針](#) [サイトマップ](#)

[コニカミノルタグループについて](#) [CSR\(社会・環境活動\)](#)

©2011-2014 Konica Minolta Business Solutions Japan Co., Ltd.